

■第4回新居浜市長期総合計画審議会議事概要

業 務 名	新居浜市長期総合計画策定業務	
会 議 名	第4回新居浜市長期総合計画審議会（全体会）	
日 時	平成22年8月12日（木） 15：30～16：30	
場 所	市民文化センター別館4階大会議室	
参 加 者	委員（19名）	
事務局	市（4名）、コンサルタント（1名）	
議 事 内 容	（1）連絡事項、資料の確認 （2）分科会の報告	
質 疑 等	委員	第1分科会の「若者の視点でのまちづくりについて」の意見のように、各フィールドがまたがったようなものに対しては今後どのように対応するつもりなのか？
	事務局	当然ながら施策は45あり、それぞれが関連する事項もある。分かり易いように、基本計画の中で「関連施策」を盛り込んでいるが、指摘の若者が集えるまちづくりに関しては、取組の中で、今度計画している駅前のミュージアムや教育問題など色々な分野で関連すると思う。すべての関連について表記はできないが、具体的な取組の中では連携して作り上げていきたいと考えている。
	委員	前回の第3部会の中で意見を言ったが、各フィールドにまたがるような意見を言うと、議事録から削除されていたので、どのような対応するのか疑問を感じた。 全体的な視点での意見であるが、例えば76ページ「スポーツ振興と競技力の向上」のところ、施設の整備に関する追加資料の中に、全国規模の大会観戦者数とあるが、これを達成するためには、誘致とともに施設の設備が必要である。スポーツの向上のためだけならば、その上にお金をいくらつぎ込むかとなる。これについては、経済活力にも関わるがそういう観点も考えなければならない。例えば、この5-7のスポーツ振興のところでは、関連施策が「公園・緑地の整備」、「健康づくりと医療体制の充実」となっているが、もっと広いところをまたがったものはどうするのか？お金がないから建てられないではなく、今、新居浜では四国で大会をやる時に、体育館に冷暖房が無いので、新居浜では開催しない。新居浜が主体となって教職員が動いても隣の市に借りに行っている。当然、宿泊も隣の市に泊まるわけである。経済活動を考えたら、ここの位置づけだけではないと思う。また、駅前に

	<p>についても、経済活動としての駅前の設備整備を考えなければ ならない。前回投げかけたのですが、これはどのように考 えるのか？</p>
事務局	<p>前回、第3分科会でご意見をいただいたが76ページ「現況と 課題」にあるように、確かに新居浜市内での体育館など施設 は老朽化している。今回の長期総合計画の中でもアセットマ ネジメントと進めていかなければならないと思っている。体 育施設についても不十分と考えているので、第五次長期の中 の総合運動公園構想といった施設整備も含めて検討してい きたいと思う。また、14ページの「公園・緑地の整備」にも記 述しており、総合的に検討させていただきたい。</p>
事務局	<p>いろいろな施策が関連しあっているものをどう繋げていつて 作り上げていくのかということだと思う。基本計画の1ペー ジに「施策の体系」と書いているが、基本的な考え方は分か り易くするために、フィールドを6つに分けて分野別の計画 を作っている。当然のことながら、それらを全体として作り 上げていくことにより、目指す都市像を作っていこうとする ものである。</p> <p>ご指摘の点は、分野別の施策だけでとられるとそういうこ とになるが、都市像として目指そうという考えはあるので、 全体を連携して作り上げていくという基本的な考えに変わり はない。具体的にどの分野で繋がっているのかということは、 実施をしていく中で、それぞれが連携を十分に確保し、一緒 に作り上げていこうという姿勢で臨みたいと考えている。</p>
委員	<p>第1分科会で若者が魅力を感じるまちについて意見があつた が、私は最近、新居浜市に住むことになったが、10万人以上 都市では倉敷だったら美観地区、松山だったら大街道など、 若者が集まることができ、「そこに行けば楽しい」そういう所 が無いと若者がずっとここに定着しないのではないかと。いく ら産業が発展しても、文化的な匂いも無いし、何か新しい文 化が発生するものも今の新居浜には無い。今後を展望する中 で、そういう場所が新居浜市にいるのではないかと提案 である。例えば今度、駅前に出来るミュージアムはどのよう に若者が集まれるか、規制なしに集まれるか、あるいは、高 専通りが新しい文化施設や喫茶店などの学生街の雰囲気があ って、若者にとって用事が無くても集まれるような場所が新 居浜にもあつたらどうかとを感じる。ただ、文化施設を造ろう</p>

		<p>とということではなく、若者を引き付ける場所はどのようなものなのかももう少し考えるべきである。</p>
	委員	<p>港湾の整備について、先日、重点港湾が限定され、そこを中心的に支援していこうということになっている。新居浜市は港務局方式（全国で唯一）であるが、重点港湾にならなかったことに影響はなかったのか？また、港務局方式が今日において、メリットとデメリットを考えた場合に、検討すべき時期にきているのではないかと考える。現行の状況がベターなのかどうかなど、長期計画だけに検討する必要があるのではないかと。</p>
	事務局	<p>まず1点目については、最近新聞報道があった。重要港湾103港が重点港湾43港に絞られたが、新居浜港は対象外となったことで、愛媛県では、国の直轄事業が出来ないということである。それを受けて、17ページに個別計画「新居浜港港湾計画（平成11年策定）」を策定しているが、計画の見直しが必要と考えている。16ページに、「活動指標と計画値」では、「供用している公共岸壁数（累計）」があり、平成11年度計画策定時には11箇所供用している。あと残り3箇所を供用することで、11箇所になるが、その中に国の直轄事業が1つ含まれているので今後要望していきたいと思っている。</p> <p>港務局の今後のメリット・デメリットについては、新居浜港は昭和12年からでき、28年に港湾法の関係で出来上がったが、このことについては、法的なこともあり、組織もあるので、今後検討していきたいと考えている。</p>
議事内容		<p>(3) 答申に付議する事項について (4) 今後のスケジュールについて (5) その他について</p>
質疑等	委員	<p>私は、まちづくりについていろいろと市民の方と話しており、例えば駅前について若者と話し合いをする中で、駅に毎日3,000人乗降客がいるが、その人達をいかにその駅前の施設に留め、活性化をするかという話は盛り上がる。しかし、今の計画の文化施設は世俗的などころではなくて、人がいない所みたいなことを言っている。そこで話し合いが止まった。</p> <p>今、私たちは市民の立場で意見を言っているが、12万人がいろいろな方向を向いており、まとめることは非常に難しい。だからこそ、先程言った「選択と集中」のためには、市民の意見を聞くけれども、市民自らが決めることは無理と考える</p>

	<p>ので、結局は市長がマニフェストに基づいて駅前をどのようにするか明確化することが必要である。市民はどちらにしてもそれを利用し、その中でやっていくことになる。</p> <p>そのために、この場を使えばいいと投げかけているわけで、誰かが方向性を出し、それを市民が判断してやらないと、いつまでもこの問題がくすぶってしまう。そういうことを踏まえてやってほしい。</p> <p>資料4の答申の中の①社会経済情勢、時代の潮流に合致した施策の展開、②市と市民、団体等の協働・連携強化、③事業の選択と集中、行政の効率化、財政の健全性を踏まえた上で決断するしかないのではないかと思う。</p>
--	---